

別紙第十二

日支合辦會社調敷已措置要領

昭和十八年四月七日
大本營政府連絡會議了解

1750

第一方針

- 日支合辦会社、調整ニ関シテハ、大東亞戦争完遂ノ為、對支處理根本方針ニ
則リ大東亞戦争完遂ノ為支那側ノ帝國ニ對スル積極的協力ヲ確保スルヲ自途トシ特
ニ調整ニ依リ戦争遂行上重大ノ障礙トルモノノ外國政府ノ政治ヲ強化、人心
把握ニ資スル如ク其一部ニ付支那側ノ亦讓、解散等ノ措置ヲ講スル共ニ
其他ノモノニ付テハ概不反記大綱ニ準據シ調整シテ實現スルモノトス
- 一、日本側官廳ニ依リ從來直接監督ヲ廢シ極力國民政府ノ監督權ヲ
行使ヲ擴張セシム
 - 二、極力支那側企業ノ實質ヲ保持セシムル爲、重役、従業員等ノ構成ハ成ル
可ク支那人數ヲ多クシテモトシ特ニ有力財界人ノ吸引ニ重點ヲ置ク
 - 三、資本構成ヲ再檢討シ要スレハ借款ニヨリ支那側増資ヲ図テシム
 - 四、極力企業ノ独立ヲ廢ス
 - 五、支那側合理的課税ニ服セシム

六、其他事業運営上極力民把握ノ爲必要ナル措置ヲ講ス

備考 本件 調整中實施ニ際シ作戰上支障ヲ來ササル様留意
スレト共ニ從來國民政府於テ正式承認ヲ爲シテ居ラザリシ會社ニ
付正式ニ之ヲ承認セシムルモトス

第一、實施順序、方法、反時期

右方針、實現實施ニ向シテ、物資統制、合理化、敵産、處理、
租界、還付乃至回收ニ伴フ公共團體等、政策等、晚ニ合見
各會社別ニ調整實施計畫ヲ定メ、之カ實施ノ時期ニ付テハ、經濟
戰力、効率、的増強ニ能ク限リ支障ヲ來サル様配意シ、速ニ着手
シ、後急買シキヲ因リ、實行容易ナルモノニ付テハ、概ネ本年七月末
迄ニ、其他、モノニ付テハ、概ネ本年未迄ニ之ヲ完了スル目途ト
スルモノトス。